

# オーストラリア年越コロナ感染日記

ツアー中断から自分自身の感染、無事帰国できるのか？



2021年

12/28 オーストラリア到着。シドニーに着陸後、機内アナウンスで「2日目と6日目にPCR検査を受けるよう、もし受けていないことが発覚すると訴追されて5000ドルの罰金になります」と放送がある。罰金刑は厳しいなと感じたけれど、オーストラリアの感染状況を全然分かっていなかった。

Resulted Date: 29/12/2021

Name: Soichi Terada

Your COVID-19 RT-PCR test is  
NEGATIVE.

If you are not the intended  
recipient, contact us  
immediately o

12/29 PCR検査のためシドニー空港内の有料検査場に行くと、なぜかもぬけの殻になっている。そこで駐車場でやっていた公共の無料PCR検査を受けることにした。1日で結果が出ますよと言われて、その日の夜にはもう陰性の結果がSMSで来て随分早いなと思ったが、まだオーストラリアの状況はよく分からない。



12/30 テレビのニュースでオーストラリア国内でコロナ感染者がスゴイ勢いで増えていることを知る。シドニー郊外でPCR検査のために車の長い列ができていて「朝からもう8時間待っているんですよ～」と笑顔で答える人が放送されていて、その忍耐力というか樂觀力に圧倒された。



12/31 マリックビルはシドニー中心部から車で20分位の地域で、そのFactory Theatreで年越しのライブをすることになっている。敷地内に大小3つか4つの会場があって場内にいる人数はかなり多かったけれど、ライブ以外ではマスクをしていたし、出来る注意は十分したつもり。でも叫びました。



2022年

1/1 メルボルンに移動すると気温が37度になっていた。湿度は低いので体感温度はそれほどでもないけれど、日向にいと干物になりそう。出番時間は1時間30分押しと言われた後「いけそうだったらやろうか？」という舞台監督の一言で1時間押しに縮まった。いい意味でいい加減な時間感覚がイイ！



1/2 検索してみると、偶然なことに宿泊しているホテルはOmodaka のライブのため 9年前に初めてメルボルンに来た時と同じカールトンという地区にあることを知る。そのあたりから中心部を見ると面白い形の高層ビルがたくさん建っていて、街全体が急成長してる印象がある。



1/3 スーパーマーケットに買い物に行ったり、ランドリーに洗濯に行ったりしたこともあって、入国6日後のPCR検査のことを忘れていた！そこで公共のPCR 検査の登録申請をすると、最寄りの会場は近所の大学の敷地内で予約は不要だった。えっ登録後は予約なしでいいの？



1/4 オーストラリア各地のイベント主催者にまでコロナ感染が広まってしまい、7公演が延期になるという連絡を受ける。テレビのニュースで流れる感染者数も日ごとに倍になっている？くらいの勢いで増えていて、これは仕方ないと思い、急いで帰国用のPCR検査のことを色々調べていると一日が過ぎる。



1/5 朝起きると喉に痒いような違和感があり、公共のPCR検査だったら夜に結果が出ると考えて、検査会場に向かう。すでに会場には長〜い行列が出来ていて感染者数の急増を思い知らされた。並び始めてから3時間半でやっと検査を受けてへっへっ、「8時間よりは短かいじゃない？」と自分に言い聞かせた。



1/6 おそらく検査数が爆発的に増加しているんだろう、検査結果は1日経っても来ないよ。ほぼ無症状の自分が陽性の結果を受けるとは夢にも思っていないので、空港で旅行者用の検査を受ければいいのかとも考えたが、日本独自形式の陰性証明書が無ければ帰国便には乗れない。



1/7 これは検査数が爆発的に増加しているに決まっている、「当日の夜には結果が出ますよ」と言われたが、検査結果は2日経っても来なかった。一方スーパーへの買い物の途中に見つけた「Sushi Hub (寿司ハブ)」のエビフライの海苔巻きやアレンジ稲荷などのオリジナル寿司がとても美味しい。

---

DH reference number:

[39916169](https://www.dh.vic.gov.au/39916169)

This is the Victorian  
Department of Health.

Dear Soichi,

You have tested positive for  
COVID-19. We understand this  
is a difficult time. We can help  
you get medical assistance and  
other help you might need.

1/8 検査数が爆発的に増加しているから中々結果が来ないんだと自分に言い聞かせたが、検査結果は3日経っても来ない。そして3日半が経過した夜になって陽性反応の結果が来た。そんなばかな！ワクチン2回打ったのに〜と思ったけれど陽性結果の出る間は帰国便には乗れないし、これは長びくかもしれない。



1/9 調べると一度PCR検査で陽性反応が出るとコロナの症状の有無にかかわらず9-30日間位は陽性反応が出続けるらしい。メルボルンでの滞在が長引く場合に備えてお手頃な値段のホテルに移動した。保険当局からは症状が悪化した場合の救急番号000が知らされる、オーストラリアは000なんだね。

If you have any questions  
please call us at [\(03\) 9231  
4900](tel:0392314900).

If you have a medical  
emergency, including difficulty  
breathing, call [000](tel:000) now.

Thank you,  
St Vincents Health

1/10 救急番号000と健康相談の電話番号が保険当局から知らされるけれど、特に指定された施設に移動するわけでもなく自宅隔離ホテル版のような状態になる。1日に数万人の感染者が出て、それが数日毎に倍増していく状況では陽性者というだけで隔離したりすることはきっと不可能なんだろう。



1/11 メルボルン滞在が長引く場合に備えて更に値段的にお手頃なホテルに移動する。フロントのお兄さんが公共のPCR検査は行列がすごく長いから午前中の早い時間に行った方がいいよと教えてくれる。うん、それはもう体験したよと言おうか、アドバイスどうもありがとうと返答するか迷った。



1/12 全豪オープンテニスが近いことを知って、ツアーが途中でキャンセルにならずに自分もコロナ感染していなかったら観られたのか？と調べると、本来のツアー日程とは全然重なっていなかった。テニスの試合は一度も見ることないけれど、歩いていける位近所でやってると知ると少し興味が湧くな～



1/13 「Sushi Hub (寿司ハブ)」にはオリジナル海苔巻きの他にもオリジナルお稲荷メニューがある。普通のお稲荷さんは「プレインイナ〜リ」で、現地の人がイナ〜リの「リ」の部分で「R」の発音で言うのを真似して「プレインイナ〜リ」と注文してみたけど、自分の「R」のダメ具合に笑ってしまった。



1/14 最初の陽性反応が出てから9日目になるので再度PCR 検査を受けてみる。陰性の場合そのまま帰国便にも使える証明書を発行してくれる検査機関に行った後、不幸にも陽性だった時に備えてさらにお得なホテルに移動した。メルボルンの中心部はトラムが無料だけど、今は乗るのは諦めよう。

採取方法 (Please check one of the boxes below)	検査法 Testing Method for COVID-19 (Please check one of the boxes below)	結果 Result	①結果判明日 Test Result Date ②検体採取日時 Specimen Collection Date and Time	備考 Remarks
唾液 Saliva	<input checked="" type="checkbox"/> 核酸増幅検査 (RT-PCR 法) Nucleic acid amplification test (RT-PCR)	<input type="checkbox"/> 陰性 Negative	① Date(yyyy/mm/dd) 2022/01/15	
唾液と鼻汁 の混合 Saliva and Nasopharyngeal fluid	<input checked="" type="checkbox"/> 核酸増幅検査 (LAMP 法) Nucleic acid amplification test (LAMP)	<input checked="" type="checkbox"/> 陽性 Positive →入国不可 No entry into Japan	② Date(yyyy/mm/dd) 2022/01/14 Time AM/PM 12:12	
	<input type="checkbox"/> 核酸増幅検査 (TMA 法) Nucleic acid amplification test (TMA)			
	<input type="checkbox"/> 核酸増幅検査 (TBE 法) Nucleic acid amplification test (TBE)			
	<input type="checkbox"/> 核酸増幅検査 (Smart Amp 法) Nucleic acid amplification test (Smart Amp)			
	<input type="checkbox"/> 核酸増幅検査 (NEAR 法) Nucleic acid amplification test (NEAR)			
	<input type="checkbox"/> 次世代シーケンシング法 Next generation sequencing			
	<input type="checkbox"/> 抗原定量検査* Quantitative antigen test* CLEVERECT/EA			

\* 抗原定量検査ではない  
Not a quantitative antigen test.

1/15 有料検査機関からのPCR 検査の結果は陽性。やっぱり最短での陰性は無理だったかという失望があったけど、有料の検査はちゃんと1日で結果を知らせてくれて、陰性の場合はそのまま搭乗時の証明に使える形式で発送してくれることが分かったという収穫があった。



1/16 爆発的なコロナ感染の影響で、スーパーが品薄になっちゃっているというニュースを見てからスーパーに行ってみると、まだそれ程は感じなかったがオレンジジュースの棚だけはガラーンとしてる。オレンジジュース製造工場か物流のどこかでクラスターが起きたんだらうか？



1/17 今後定期的にPCR検査を受けるとして、どんな頻度で受けるたら最適なのか考えた。あまり頻繁に受ける  
と検査費用もかさむし、だからといって間があきすぎると今度は滞在費用がかかってしまう。5,7,10 日おきの  
3種類を検討してみて、7日ごとに受けてみることにする。



1/18 TVを見ていると全豪オープンが話題がとて多いけれど、クリケットのことも報道している。クリケットはやったことがないし、ルールも知らないので放送を見ても内容はよく分からないけど、広場でやっている草クリケットを見ていると楽しそうだ。



1/19 天気も良いので買い物のついでに近くの公園に寄ってみると、人出は少ないけど、マスクをしている人も少ないので、マスクをしている自分が何だか後ろめたいような気持ちになってくる。しかも公園に公共のwifiが飛んでいて、中心部はトラムもwifiも無料とはメルボルンは太っ腹だな～



1/20 少し前に買ってあった「一番デリシャス」のカップ麺を作ってみた。全重量の10%以上のオージービーフ入りだけど台湾産という表示が面白くて買ったけれど、もしかしたら牛肉加工品は原材料をオーストラリア産にしなくちゃいけない輸入規則があるのかもしれない。とても美味しかった！



1/21 オーストラリアに着いてから通算4回目のPCR 検査を受ける。前回まではオーストラリア国内の携帯電話番号が必須だと言われてきたけれど、今回はメールアドレスだけでOKらしい。お得意様になったのだろうか？  
「どうせ今回も陽性でしょ」みたいな少し投げやりな気持ちになる。

検体 Sample (下記いずれかをチェック/Check one of the boxes below)	検査法 Testing Method for COVID-19 (下記いずれかをチェック/Check one of the boxes below)	結果 Result	①結果判明日 Test Result Date ②検体採取日時 Specimen Collection Date and Time
<input checked="" type="checkbox"/> 鼻吸頭ぬぐい液 Nasal mucus swab	<input checked="" type="checkbox"/> 核酸増幅検査 (RT-PCR 法) Nucleic acid amplification test (RT-PCR)	<input checked="" type="checkbox"/> 陰性 Negative	① Date(yyyy/mm/dd) 2022/01/22
<input type="checkbox"/> 唾液 Saliva	<input type="checkbox"/> 核酸増幅検査 (LAMP 法) Nucleic acid amplification test (LAMP)	<input type="checkbox"/> 陽性 Positive →入国不可 No entry into Japan	② Date(yyyy/mm/dd) 2022/01/24 Time (hh:mm:ss) 11:37
<input type="checkbox"/> 鼻咽喉の液と咽頭 の液の混合 Nasal, pharyngeal and oropharyngeal swab	<input type="checkbox"/> 核酸増幅検査 (TMA 法) Nucleic acid amplification test (TMA)		
	<input type="checkbox"/> 核酸増幅検査 (TRG 法) Nucleic acid amplification test (TRG)		
	<input type="checkbox"/> 核酸増幅検査 (Smart Amp 法) Nucleic acid amplification test (Smart Amp)		
	<input type="checkbox"/> 核酸増幅検査 (NEAT 法) Nucleic acid amplification test (NEAT)		
	<input type="checkbox"/> 次世代シーケンシング Next generation sequencing		
	<input type="checkbox"/> 抗原検査 Antigen test (ELISA, REG-BL)		

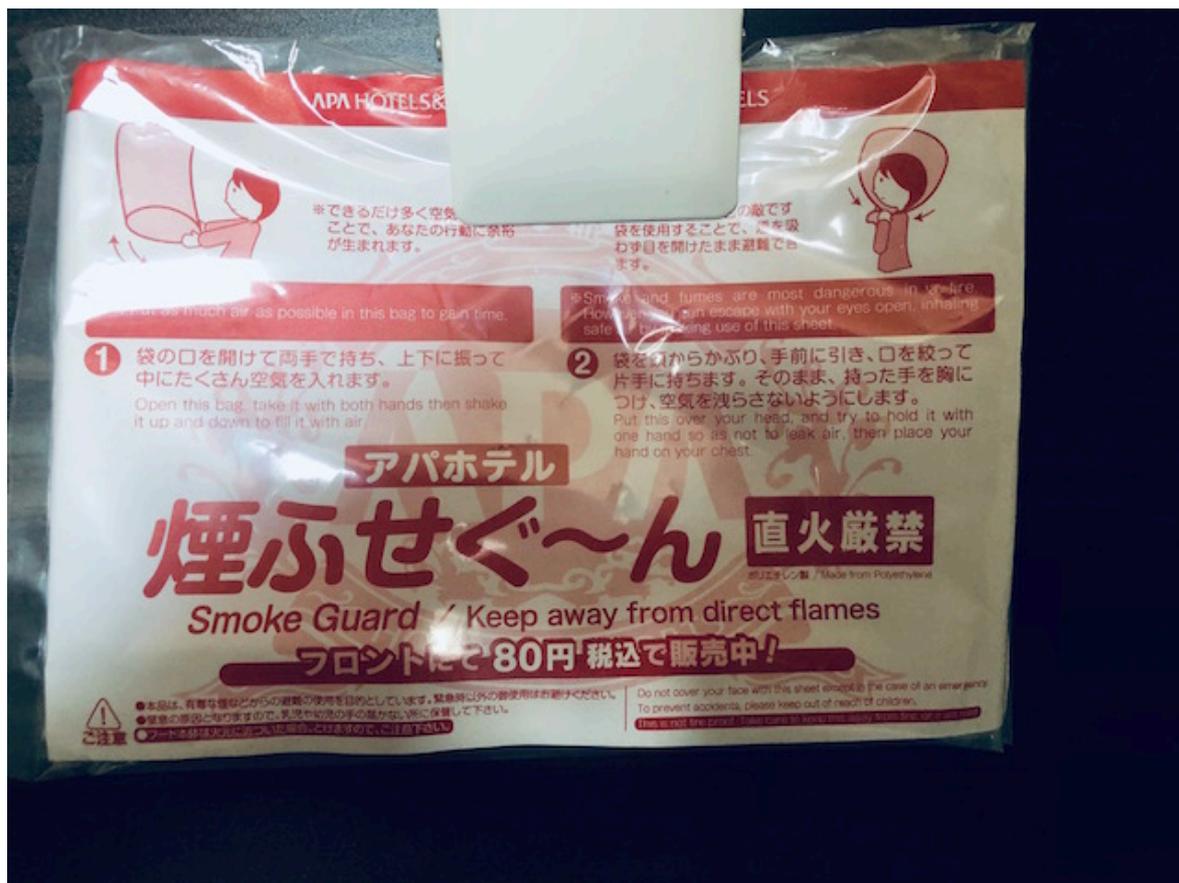
1/22 寝坊して起きるとメールに届いていた結果は陰性だった！やった～これで帰国便に乗れる。エージェン  
 トに連絡してフライトを手配してもらおうものの、全豪オープンの影響なのか？メルボルンからシドニーまでの便が  
 思いの外混んでいるようで焦る、陰性証明書の効力は72時間しかない。



1/23 一時はシンガポール経由の帰国便も検討したけれど、その経路だと陰性証明書の効力が切れてしまうことが判明して結局シドニー経由で帰国することになった。オーストラリアの国内ターミナルは混んでいるけれど、国際ターミナルに入ると急にガラガラに空いている。



1/24 羽田空港に着くとそのまま検疫の手続きに進んで再度PCR検査を受けて、ここで陽性だったら一体どうなるんだろうと思ったが、結果は陰性で安心した。20人位がまとめられてバスで隔離施設に送られるが、どこの隔離施設に運ばれるのかは事前には教えないことになっているようだ。



1/25 隔離施設は綺麗なビジネスホテルで空間的な圧迫感はあるものの、窓からの眺めがすごく良いので快適に過ごせそう。食事も3食提供されてとても美味しいけれど、部屋の外に出ることはNGなので、感染者が完全隔離されたらこうなるであろう雰囲気ガリアルに体験できる。



1/26 食事はドアの外側のノブに吊るされて用意されて、毎日ほぼ決まった時間に「♪ピンポンパンポ〜ん♪♪  
（前略）食事の準備が整いました（以下略）」という館内放送の後で提供される。ありがたいことに感染時にも味覚異常などの症状は全く無かったので、ゴハンが美味しく食べられるなあ〜



1/27 朝7時にPCR検査を受けて、この結果が陰性だと隔離施設を出所できることになっている。施設から直で解放して欲しいけれど、一度羽田空港にバスで送還されて、そこから公共交通は使わずに自宅に戻ることが求められる。日本の水際対策は万全だなと思ったけど実際は感染爆発中、オミ先輩ヤバイ。



1/28 検査の結果は陰性で、無事に自宅に戻ることが出来て、そばを茹でなくてもそのまま直ぐに食べられる「ざるそばパック」を衝動的に買ってしまった。この手のそばには必ず「ほぐし水」が入っているけれど、この水には何か特別なほぐし成分が入っているのだろうか？それともただの水なのか？

## 待機期間変更のお知らせ Revision of the quarantine period

1月29日からの水際対策の変更により、あなたの待機期間は入国の翌日から7日間となりましたので8日目以降待機解除となります。システムの設定上、MySOSの待機最終日の表示は修正されず、また健康確認と位置情報のプッシュ通知や警告等は10日目まで届きますが対応は不要で

1/29 帰国者の待機期間が10日間から7日間に短縮されましたというお知らせが来る。帰国者は位置を確認するためのアプリを携帯に入れることが必須で、所在の確認等も携帯を通して行われるため、携帯に監視されている感がハンパない。技術的にはカメラやマイクを遠隔でON とかも出来るだろうな。



1/30 オーストラリア滞在中の写真を見返してみると、不思議な形をしたビルの写真がたくさんあって、街中で「こんな形はどうだ」建築大会が開催されているような感じさえある。地震もないだろうし、中国や中東の資本が投入されているであろう派手な建物がガンガン建設されていた。



1/31 今日は自宅待機最終日で、明日からはやむを得ない用事でなくても外に出られることが嬉しいし、今回はほぼ無症状のまま回復できて、想像より早く帰国できたこともラッキーだった。感染後の隔離のシステムも国によって随分違ってきること分かったし、とても貴重な体験でした。

2022/2/1 寺田創一